

第93期 年次株主通信 2020.4.1～2021.3.31

不二製油グループ本社株式会社

変革を続け、持続可能な「次世代の食」を
育むグローバルカンパニーを目指す

新型コロナウイルス被害者の方々には心よりお見舞い申しあげるとともに、日夜懸命にこの新型コロナウイルスへ立ち向かう医療従事者をはじめとしたすべての方々に改めて感謝申し上げます。また、株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界中で新型コロナウイルス感染の拡大が収まらないなか、ステークホルダーの皆様と健康を確保することを最優先に、この4月より酒井が代表取締役社長に就任し、安全・安心な製品の安定供給を通じて広く世界中においしさと健康をお届けすべく、事業活動に努めております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

酒井 幹夫

特別顧問

清水 洋史

第93期の概況について

当連結会計年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により経済活動が大きく制限されております。政府の経済対策の効果もあり、個人消費については緩やかな回復基調に戻っていたものの、年末からは感染者が拡大傾向にあり、依然として感染拡大の収束時期の見通しが立たず、先行き不透明な状況が続いております。また、世界各国においても、感染拡大を抑制するために厳格なロックダウンが実施され、経済活動は大きく制限を受けました。一方、大規模な財政支援策などから先進国経済は、回復基調にありましたが、冬場の感染再拡大に伴う活動制限の強化を受けて、回復の足取りはやや停滞しております。当社グループにおきまして、相対的に中国は堅調でしたが、他の市場においては新型コロナウイルス感染拡大による景気低迷の影響を受

けております。

当連結会計年度は、中期経営計画「Towards a Further Leap 2020」(2017-2020)の最終年度にあたります。当中期経営計画期間内において、コアコンピタンスへの資源投入やノンコア事業の売却等、選択と集中は大きく進みましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による国内・海外での景気低迷の影響もあり、当初計画していた利益成長を達成することはできませんでした。「コアコンピタンスの強化」の施策において2019年に取得したBlommer Chocolate Companyをはじめとしたグループ会社の収益力の向上を図り、今後の景気回復局面での収益拡大を達成できるよう努めてまいります。

以上の結果、当連結会計年度における経営成績は、裏面のとおりとなりました。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症が再拡大するなか、内需を中心に景気回復が一服して

おります。さらに大阪府や東京都などに3度目の緊急事態宣言が発出され、再び消費活動の自粛が強まっている状況です。海外においては、ワクチンの普及を背景に景気回復への期待が高まっておりますが、依然として先行きが不透明な状況が続いております。この様な状況のなか、当社グループは、従業員の健康と安全の維持、工場の安定稼働、サプライチェーンの確保、債権の保全、経費の削減等、事業への影響を最小限に抑える施策を実施すると共に、手元流動性と財務安定性を確保することに注力します。またESG経営を推進し、今まで培ってきた植物性油脂と植物性たん白の技術と知見を最大限に活かし、乳化、発酵、分別などの加工技術を取り入れ、大豆だけではない植物性たん白を主原料とした、持続可能な「次世代の食」事業を育成してまいります。通期の業績予想値は、裏面のとおり見込んでおります。

植物性油脂事業

連結売上高構成比

27.0%

売上高は、国内市場では、外出自粛により家庭用菓子関連の販売が増加しましたが、外食市場向けの販売の減少により、微減となりました。海外市場では、米州及び中国を除くその他のエリアでは新型コロナウイルス感染症拡大の影響による市場の停滞があったものの、米州において原料相場上昇が寄与し増収となりました。利益面は、欧州における販売の低迷や米州において相場上昇による原料コスト増加で収益性が低下したこと等により、減益となりました。

業務用チョコレート事業

連結売上高構成比

44.5%

売上高は、国内市場では、訪日外国人旅行者の大幅な減少に伴いインバウンド需要が急速に減少し、減収となりました。海外市場では、中国において家庭菓子用チョコレートの販売拡大があったものの、円高影響に伴う為替換算や米国のロックダウンによる市場の冷え込みの影響により、減収となりました。利益面では、全地域において新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要減退で減益となったものの、Blommer Chocolate Companyにおける前連結会計年度末の先物評価損の振り戻し(戻入)により、増益となりました。

乳化・発酵素材事業

連結売上高構成比

19.1%

売上高は、国内市場では、外食市場向けクリームやパン用マーガリンの販売減少、国内連結子会社の連結除外に伴う売上高減少の影響があり、減収となりました。海外市場では、中国において付加価値の高いマーガリンの販売が増えたことによる増収がありましたが、アジアにおいて菓子原料となる粉乳調製品等の販売が減少し、減収となりました。利益面では、中国では増益となったものの、日本とアジアでの販売の減少により、減益となりました。

大豆加工素材事業

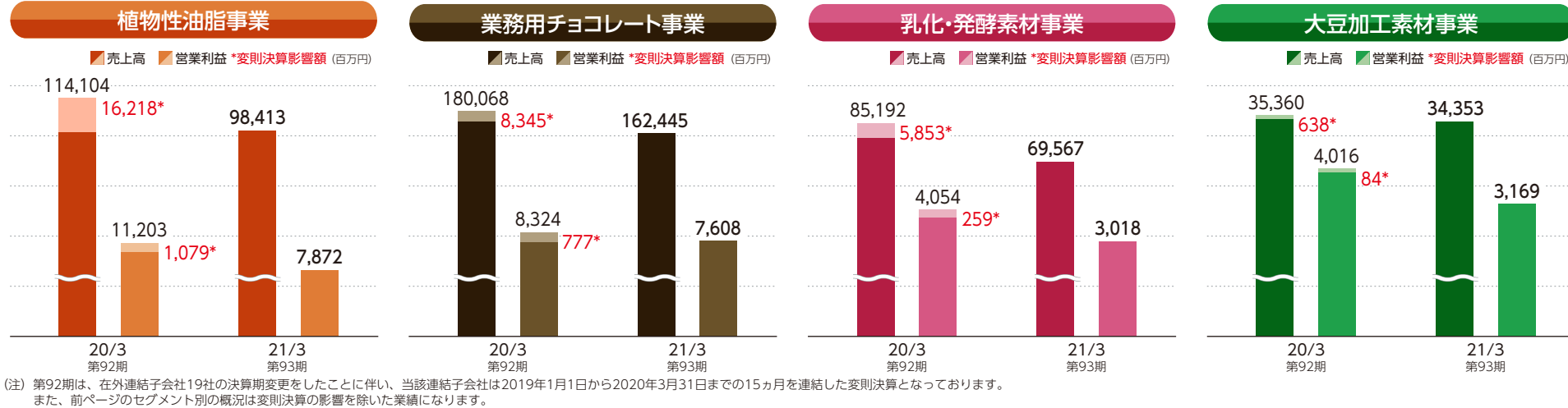
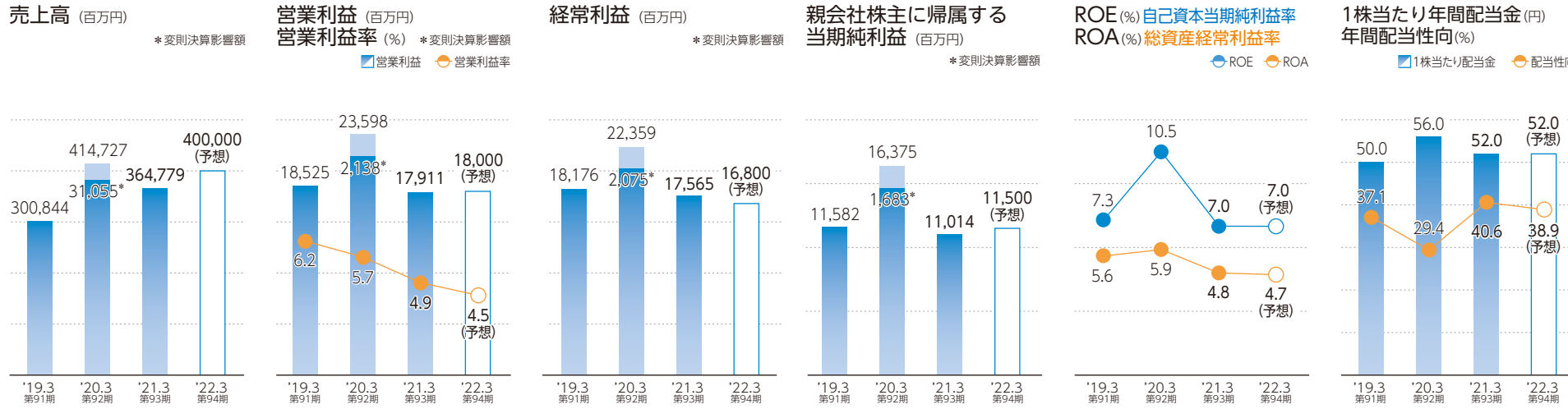
連結売上高構成比

9.4%

売上高は、国内市場では千葉工場で新工場が稼働開始した大豆たん白素材の販売が好調となりましたが、豆乳事業の事業整理に伴う売上高の減少もあり、減収となりました。海外市場では、前連結会計年度の中国のたん白食品子会社の連結除外に伴う売上高減少の影響があり、減収となりました。利益面では、国内市場は機能剤の販売が不調、海外市場は欧州における機能剤事業の新規拠点建設に伴う経費増加もあり、減益となりました。

Consolidated Financial Highlights

連結財務ハイライト



Corporate Profile & Stock Information

会社&株式情報

会社概要 (2021年3月31日現在)

設立	1950年(昭和25年)10月
資本金	13,208百万円
全グループ従業員数	5,679名
不二製油グループ本社従業員数	151名

役員 (2021年6月23日現在)

代表取締役社長	酒井 幹夫
取締役上席執行役員	松本 智樹
取締役上席執行役員	門田 隆司
取締役上席執行役員	高杉 豪子
社外取締役	上野 祐子
社外取締役	西梅 原訓
社外取締役	宮本 俊志
常勤監査役	澁谷 秀一
常勤監査役	角谷 武彦
社外監査役	魚住 隆太郎
社外監査役	池田 裕彦

株主優待

1. 対象となる株主様

毎年3月31日現在の当社株式100株以上ご所有の株主様

2. 優待品発送時期

毎年11月上旬頃

3. 優待品保管期限

転居やご不在により、お受け取りいただけなかった優待品は、1月末日まで当社で保管しております。再発送のご依頼は、お早めに下記当社株主優待お問い合わせ窓口へお申し出ください。
なお、上記保管期限経過後の再発送はいたしかねますので、ご了承ください。

4. お問い合わせ先

当社株主優待お問い合わせ窓口

フリーダイヤル 0120-651-563

受付時間 10:00~17:00 (土曜・日曜・祝祭日を除く)

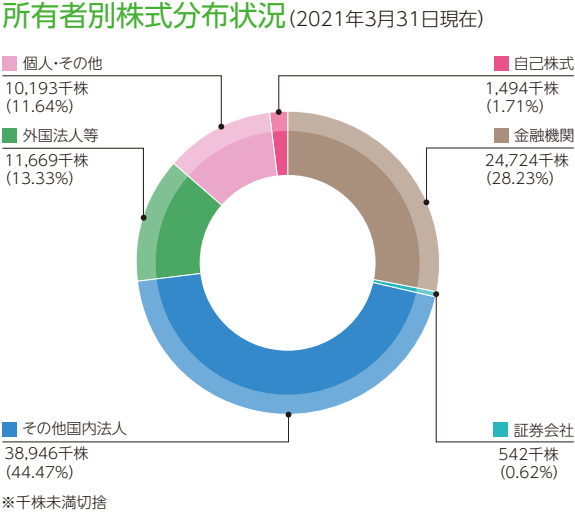
5. 優待品内容

ご所有株式数に応じて、以下の優待品を毎年11月上旬頃にお届けいたします。

ご所有株式数	優待品
100株以上	不二製油グループ製品詰合せ 1,500円相当
1,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ 3,000円相当
5,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ 4,000円相当



内容例：4,000円相当 (2020年11月発送実績)



株式に関するご案内

下記当社ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.fujioilholdings.com/ir/stock/>